

2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月25日

上場会社名 株式会社出前館 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <https://corporate.demaecan.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 英雄
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 CFO 経営企画本部長 (氏名) 矢野 哲 (TEL) 050-5445-5390
 四半期報告書提出予定日 2021年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	18,493	171.0	△12,907	—	△12,889	—	△14,734	—
2020年8月期第3四半期	6,822	40.8	△1,608	—	△1,917	—	△1,877	—

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 △14,752百万円(—%) 2020年8月期第3四半期 △1,994百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	△179.22	—
2020年8月期第3四半期	△40.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	25,738	13,927	53.3
2020年8月期	35,985	28,479	79.1

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 13,725百万円 2020年8月期 28,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	181.4	△19,000	—	△19,000	—	△21,500	—	△261.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
（連結子会社の社名の変更）

当第3四半期連結会計期間において、2021年5月1日付で、当社の連結子会社である株式会社薩摩恵比寿堂は、株式会社出前館コミュニケーションズに社名を変更しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期3Q	85,486,500株	2020年8月期	85,486,500株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	3,267,074株	2020年8月期	3,271,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期3Q	82,217,228株	2020年8月期3Q	46,771,404株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2021年6月25日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年9月1日から2021年5月31日)につきまして、当社グループは「デリバリーの日常化」を実現すべく、出前館の拡大に向けた取り組みを加速させてまいりました。

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、多くの地域で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、飲食店においては店内飲食の営業時間短縮要請等によって引き続き厳しい経営環境に置かれています。

そのような状況下、より多くの飲食店にご加盟いただくため、シェアリングデリバリー®のエリア拡大を積極的に進めてまいりました。第3四半期においても、新たに、山形県、岐阜県、秋田県、鳥取県、島根県でサービスを開始しました。サービス提供対応地域は5月末時点で44都道府県まで広がり、全国の約半分の世帯に対して、サービスを提供できる体制が整いました。

急拡大する需要に対応するため、テレビCMをはじめとした配達員獲得施策を実施し、配達員数は前年同期比で約7倍に達しました。シェアリングデリバリー®のサービス拡大に伴い、加盟店の増加が加速し、シェアリングデリバリー®対応飲食店は前年同期比で約6.6倍に増加しました。また、加盟店数を増やすだけでなく、主要都市に営業拠点を置くことで、各加盟店の売上拡大に繋がるコンサルティングの強化に努めてまいりました。

テレビCMでのブランド訴求やLINEスタンプと連携したキャンペーン等の様々な利用促進施策を引き続き実施したことで、ユーザーのすそ野の拡大に繋げることができました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,493,570千円(前年同期比171.0%増)と引き続き事業の拡大が続いているものの、積極的な事業展開と投資実行により、利益については、営業損失は12,907,076千円(前年同期は1,608,869千円の営業損失)、経常損失は12,889,760千円(前年同期は1,917,539千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は14,734,930千円(前年同期は1,877,768千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
出前館サービス利用料	3,796,142	55.6	7,597,955	41.1	3,801,812	100.1
配達代行手数料	1,301,914	19.1	9,349,983	50.6	8,048,068	618.2
その他	976,787	14.3	1,090,209	5.9	113,421	11.6
小計	6,074,845	89.0	18,038,148	97.5	11,963,303	196.9
通信販売事業	748,112	11.0	455,421	2.5	△292,690	△39.1
合計	6,822,957	100.0	18,493,570	100.0	11,670,613	171.0

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第3四半期連結会計期間末におけるGMVは1,138億円(前年同期比58%増)となりました。あわせて、アクティブユーザー数は652万人(前年同期比76%増)、加盟店舗数は7.4万店(前年同期比207%増)、シェアリングデリバリー®の世帯カバー率に関しましては49%となり、期初予想を上回るペースでの拡大が進みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高の内訳は、出前館サービス利用料7,597,955千円、配達代行手数料9,349,983千円、その他1,090,209千円となり、セグメント売上高は18,038,148千円(前年同期比196.9%増)となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、飲食店向けに焼酎などの通信販売を行っておりますが、引き続き新型コロナウイルス拡大に伴う飲食店の営業縮小の影響を受け、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は455,421千円（前年同期比39.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で10,126,230千円減少し、25,454,021千円となりました。主な増減の要因は、未収入金が2,845,564千円、その他が292,499千円、受取手形及び売掛金が160,804千円増加した一方、現金及び預金が13,388,152千円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で121,171千円減少し、284,369千円となりました。主な増減の要因は、差入保証金が77,790千円、投資その他の資産のその他が36,991千円、有形固定資産が3,789千円、ソフトウェアが1,969千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で10,247,401千円減少し、25,738,390千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で4,304,969千円増加し、11,766,660千円となりました。主な増減の要因は、未払法人税等が171,241千円、支払手形及び買掛金が23,097千円減少した一方、未払金が4,478,399千円、その他が20,152千円増加したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で257千円減少し、44,123千円となりました。主な増減の要因は、その他が257千円減少したことによるものです。

この結果、負債残高は、前連結会計年度末比で4,304,711千円増加し、11,810,783千円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末比で14,552,113千円減少し、13,927,607千円となりました。主な増減の要因は、欠損填補により資本剰余金が2,664,104千円減少、利益剰余金は欠損填補により増加し、親会社株主に帰属する四半期純損失を14,734,930千円を計上した結果、12,070,612千円減少したほか、役員、従業員向けストック・オプションの発行により新株予約権が199,541千円増加、その他有価証券評価差額金の取崩し17,712千円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえまして、2020年10月15日の「2020年8月期 決算短信」で公表いたしました2021年8月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細は、2021年6月25日に別途公表しております「2021年8月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,966,185	15,578,032
受取手形及び売掛金	134,904	295,708
商品及び製品	47,175	62,293
未収入金	6,375,530	9,221,094
その他	128,830	421,329
貸倒引当金	△72,374	△124,438
流動資産合計	35,580,251	25,454,021
固定資産		
有形固定資産	51,460	47,670
無形固定資産		
ソフトウェア	9,441	7,472
その他	138	138
無形固定資産合計	9,580	7,611
投資その他の資産		
投資有価証券	182,722	181,942
差入保証金	111,275	33,485
繰延税金資産	13,277	13,277
その他	38,790	1,798
貸倒引当金	△1,567	△1,416
投資その他の資産合計	344,499	229,087
固定資産合計	405,540	284,369
資産合計	35,985,792	25,738,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,026	30,929
未払金	6,867,242	11,345,641
未払法人税等	201,259	30,018
賞与引当金	82,184	82,940
その他	256,978	277,130
流動負債合計	7,461,691	11,766,660
固定負債		
その他	44,380	44,123
固定負債合計	44,380	44,123
負債合計	7,506,071	11,810,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,113,422	16,113,422
資本剰余金	15,645,037	12,980,932
利益剰余金	△2,697,306	△14,767,919
自己株式	△634,095	△633,319
株主資本合計	28,427,058	13,693,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,197	32,485
その他の包括利益累計額合計	50,197	32,485
新株予約権	2,464	202,006
純資産合計	28,479,720	13,927,607
負債純資産合計	35,985,792	25,738,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
売上高	6,822,957	18,493,570
売上原価	2,067,198	9,555,178
売上総利益	4,755,759	8,938,392
販売費及び一般管理費	6,364,628	21,845,469
営業損失(△)	△1,608,869	△12,907,076
営業外収益		
受取利息	11	143
受取配当金	1,953	826
持分法による投資利益	16,911	28,508
助成金収入	—	10,314
その他	2,301	5,378
営業外収益合計	21,177	45,171
営業外費用		
支払利息	1,751	452
保険解約損	—	11,048
為替差損	2	—
新株発行費	326,480	—
その他	1,612	16,354
営業外費用合計	329,847	27,855
経常損失(△)	△1,917,539	△12,889,760
特別利益		
固定資産売却益	—	8
投資有価証券売却益	100,039	68
特別利益合計	100,039	76
特別損失		
固定資産除却損	95	69
減損損失	—	1,680,624
役員退職慰労金	—	100,000
その他	—	7,445
特別損失合計	95	1,788,140
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,817,596	△14,677,823
法人税等	60,171	57,106
四半期純損失(△)	△1,877,768	△14,734,930
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,877,768	△14,734,930

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
四半期純損失(△)	△1,877,768	△14,734,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116,260	△17,712
その他の包括利益合計	△116,260	△17,712
四半期包括利益	△1,994,028	△14,752,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,994,028	△14,752,642
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月26日開催の当社第21期定時株主総会決議により、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を2,664,317千円減少させ、同額をその他資本剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を2,664,317千円減少させ、同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の「(追加情報) (新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)」に記載した仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,074,845	748,112	6,822,957	—	6,822,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	252,513	252,575	△252,575	—
計	6,074,906	1,000,625	7,075,532	△252,575	6,822,957
セグメント利益又は損失(△)	△1,486,325	111,307	△1,375,018	△233,850	△1,608,869
その他の項目					
減価償却費	221,709	12,141	233,850	—	233,850

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△233,850千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,038,148	455,421	18,493,570	—	18,493,570
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	539,560	539,579	△539,579	—
計	18,038,167	994,982	19,033,149	△539,579	18,493,570
セグメント利益又は損失(△)	△12,916,931	61,653	△12,855,278	△51,798	△12,907,076
その他の項目					
減価償却費	40,212	11,586	51,798	—	51,798

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△51,798千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「出前館事業」において、当第3四半期連結累計期間に取得した固定資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1,680,624千円であります。